

ときがわ 散歩

4

絵・文／大島都幾枝さん（大字本郷出身）



こがねいろ 黄金色の季節（大字本郷地内）

秋の彼岸ごろになると、稲田が黄色く色づいてくる。木々の葉も金色の光をまとったような色合いになって、残暑からも解放される。野外でのスケッチが心地よい、爽やかな季節の到来だ。ここは広葉樹の山が連なる本郷の田園地帯。季節の移ろいを感じながら、そぞろ歩いてみたい場所である。



【編集後記】 人口減少が進む中、空き家問題はこれから先さらに大きくなってきそうです。私の実家も空き家予備軍で、今は70歳近い両親しか住んでいません。まだはつらつとしているから良いものの、将来のことも考えなければと思っています。風が吹けば揺れるし、畳はガサガサ、絨毯は染みだらけ、子どもの頃につけた傷はいまだに残っています。そんなおんぼろの、思い出だらけの実家。どなたか、愛着の手放し方を教えてください。【保坂】



UD
FONT
by MORSAWA

